

新発田青少年健全育成市民会議だより

は ば た き

21世紀も市民みんなで手をたずさえて

アトラクション
紫雲寺地区「五ヶ字神楽子供会」



本丸中学校生徒の発表

青少年健全育成「市民一斉パトロール」のお知らせ

と き 11月3日(祝日) 午前9時30分～正午

・出発式 9時30分～10時
地域交流センター
(あおり館) 屋内広場

・パトロール等
10時30分～正午 (中学校区毎)

パトロール等は、中学校区の活動となります。
(別の日に行う地区もあります。)



発行 新発田青少年健全育成市民会議
事務局 新発田市青少年健全育成センター
住所 新発田市緑町二丁目六番二十六号
電話 (〇二五四) 二六〇八九七

市民会議が中心となり、地域の関係団体とともに、青少年健全育成「市民一斉パトロール」実行委員会を設立し実施いたします。

明日を担う青少年の健全育成のために大勢の皆様のご協力をお願いします。

～詳しくは、お住まいの育成協議会へ～

青少年健全育成 市民大会開催される！ 7月24日(日)

初めての大会を開催しましたが、当日は、会場の生涯学習センターに300名近くの、大勢の市民の皆様からお越しいただき、来賓として、片山吉忠新発田市長や市議会議長（代理 佐藤武男社会文教常任委員会副委員長）、高野桂子県民会議会長、大滝昇教育長をお迎えし、アトラクションも交えたにぎやかな大会となりました。

最初に功労者表彰を行い、本丸中学校 中庭「夢」プロジェクトの活動事例発表の後、記念アトラクションとして、紫雲寺地区五ヶ字地区の「五ヶ字神楽子供会」による干拓の歴史などから伝承されてきた伝統の神楽舞の披露、そして「子育ての道標」と題し、大西厚生氏（前長岡市教育長）から子育ての指針を講演いただきました。

最後に、明日の新発田市を担う子どもたちが、夢と希望に満ちた未来にはばたくことを願い、大会宣言を採択し、大きな拍手に包まれた後、閉会いたしました。

これからも多くの市民の皆様からご理解とご協力をいただける開かれた市民会議として、青少年の健全育成を推進してまいります。

ごあいさつ



新発田青少年健全育成市民会議
会長 白井茂夫

日頃青少年の健全育成に格段のご尽力を賜り、厚く御礼申し上げます。

「地域の子どもは地域で育てよう」を合い言葉に、今各地区で青少年健全育成協議会を中心とした活動が熱心に取り組み

は、年々減少いたしておりますが、子どもたちを取り巻く環境は依然として深刻であります。

子どもたちがスポーツや自然とのふれあい、集団生活などを通して、豊かな心とたくましい体を鍛える貴重な体験の場です。

児童虐待、連れ去り未遂事件等の問題が後を絶ちません。子どもたちが安全に安心して心身ともに健やかに育つように、皆でしっかりと見守っていか

事件や問題が起きた時に即対応できる防犯組織や支援活動の充実を図るためには、ネットワー

連絡体制を整備することが急務であります。それには、なによりも各関係機関が連携の強化を図り、情報交換を密にすることが大切になります。

子どもたちを非行から守るうえでさらに大切なことは、さまざまな活動や体験を通して一人ひとりが明るく輝く機会を広げることです。少年団活動は、子どもたちがスポーツや自然とのふれあい、集団生活などを通して、豊かな心とたくましい体を鍛える貴重な体験の場です。

合併による広域化とともに、問題が多様化すればするほど、地域相互の連携と協力がより強く求められます。

地域に根を下ろし、地域に開



記念講演 大西厚生先生

子育ての道標
・人は家庭で育ち、
学校で学び
社会で大きくなる。

かれた青少年健全育成活動が更に推進されますよう、市民会議に一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

大会宣言

明日の新発田市を担う、青少年の健全育成を図ることは、すべての市民の願いであります。

青少年が心身ともに健やかに成長し、あふれる意欲と広い視野を持って、夢と希望に満ちた未来にはばたくことを願い、ここに次のことを宣言します。

私たちは、育成協議会活動や青少年団体活動の重要性を認識し、青少年の健全育成活動を地域全体で積極的に進めていきます。

私たちは、青少年の非行が誘発されることのないよう、愛のバトリールなどの啓発活動を行い、有害な環境の浄化を進めていきます。

私たちは、青少年指導者の育成を図り、青少年が思いやりや自立の心を育むよう、自然体験や社会活動への参加などの機会の提供に努めていきます。

私たちは、愛情と信頼で結ばれた「明るい家庭づくり」を進めていきます。

私たちは、市民の各層、各年代の力を結集し、社会の一員として恥じることのない青少年の手下となるよう努め、21世紀の新発田を担う人材輩出を推進します。

平成十七年七月二十四日
新発田青少年健全育成市民会議 市民大会

市民会議役員

会長	白井茂夫	副会長	比企光雄	副会長	比企光雄	副会長	比企光雄	副会長	比企光雄	常任理事	大森陸雄	常任理事	渡邊和昭	常任理事	高橋大作	常任理事	宮下俊夫	常任理事	森田國昭	理事	本間喜一	理事	車野地区緑の少年団育成会	理事	高橋剛	理事	ボイスカウト新発田第一団	理事	小泉醇	理事	健民少年団	理事	若桑茂	理事	本丸中学校区明るい子どもを育てる会	理事	大竹紀明	理事	第一中学校区未来を築く子どもを育てる会	理事	栗山信	理事	猿橋中学校区すやかな子どもを育てる会	理事	二瓶法道	理事	東中学校区すやかな子どもを育てる会	理事	武者義人	理事	七葉中学校区すやかな育成会	理事	星野英夫	理事	川東地区青少年健全育成協議会	理事	藤巻召一	理事	豊浦地区青少年健全育成協議会	理事	渡辺武郎	理事	紫雲寺地区青少年健全育成協議会	理事	佐藤孝一	理事	加治川地区青少年健全育成協議会
----	------	-----	------	-----	------	-----	------	-----	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	----	------	----	--------------	----	-----	----	--------------	----	-----	----	-------	----	-----	----	-------------------	----	------	----	---------------------	----	-----	----	--------------------	----	------	----	-------------------	----	------	----	---------------	----	------	----	----------------	----	------	----	----------------	----	------	----	-----------------	----	------	----	-----------------

各世帯から会費をいただきました。ご協力ありがとうございました。

収入 7,781千円

- 市補助金等 2,576千円 33.1%
- 緑越金 525千円 6.7%
- 会費 4,680千円 60.2%

支出 7,318千円

- 印刷製本費 695千円 9.4%
- 委託料 1,700千円 23.2%
- 活動助成費 4,077千円 55.7%
- 賃金 93千円 1.3%
- 非行防止事業 74千円 1.0%
- 消耗品費 63千円 0.9%
- 予備費 36千円 0.4%
- 負担金 3千円 0.1%
- 旅費 3千円 0.1%
- 育成モデル事業費 100千円 1.4%
- 通信運搬費 129千円 1.8%
- 会議費 165千円 2.3%
- 報償費 180千円 2.4%

収入 (Income)

項目	金額 (千円)	割合 (%)
収入	8,835	-
市補助金等	3,072	34.8%
会費	5,300	60.0%
繰越金	463	5.2%

支出 (Expenses)

項目	金額 (千円)	割合 (%)
支出	8,835	-
活動助成費	5,215	59.0%
印刷製本費	800	9.1%
委託料	1,700	19.2%
会議費	250	2.8%
報償費	180	2.0%
通信運搬費	160	1.8%
育成モデル事業費	150	1.7%
賃金	120	1.4%
消耗品	110	1.2%
予備費	67	0.8%
研修費	50	0.6%
旅費	30	0.3%
負担金	3	0.1%

青少年育成団体

組 織 名	助成金額(円)
外ヶ輪小学校区青少年育成連絡会	320,000
御免町・一中校区育成会議	309,000
猿橋小学校区青少年健全育成協議会	389,000
二葉地区青少年育成協議会	254,000
住吉小学校区青少年育成協議会	256,000
松浦地区青少年健全育成協議会	111,000
さわやか佐々木っ子育成会	139,000
川東地区青少年健全育成協議会	169,000
五十公野地区青少年健全育成協議会	194,000
米倉小学校区青少年健全育成協議会	92,000
菅谷地区青少年健全育成協議会	134,000
赤谷地区青少年育成協議会	68,000
加治地区青少年健全育成会議	146,000
東豊学区青少年健全育成協議会	306,000
豊浦地区青少年健全育成協議会	327,000
紫雲寺地区青少年健全育成協議会	262,000
加治川地区青少年健全育成協議会	224,000

組 織 名	助成金額(円)
市 子 ども 会 連 合 会	938,000
市 健 民 少 年 団	222,000
市 ス ポ ー ツ 少 年 団	120,000
ボーイスカウト新発田第1団	155,000
車 野 地 区 緑 の 少 年 団	36,000
少 年 補 導 委 員 会	44,000

組 織 名	助成金額(円)
東中学校区すこやかな子どもを育てる会	50,000
七葉中学校区すこやか育成会	50,000
川東地区青少年健全育成協議会	25,000
さわやか佐々木っ子育成会	25,000

※ 組織一元化育成モデル事業は、各地域における青少年健全育成団体等の組織が多く、事業内容等が重複していることから、「すこやかな子どもを育てる会」と「地域育成協」の一本化をモデル的に推進するものです。

理	事	浮島一雄 御免町・一中校区育成会議
理	事	松川康男 猿橋小学校区青少年健全育成協議会
理	事	前田一二三夫 二葉地区青少年育成協議会
理	事	槇坂宣弘 住吉小学校区青少年育成協議会
理	事	五十嵐伸一 松浦地区青少年健全育成協議会
理	事	本間厚 五十公野地区青少年健全育成協議会
理	事	皆川進介 米倉小学校区青少年健全育成協議会
理	事	馬場泰市 菅谷地区青少年健全育成協議会
理	事	渋谷広子 赤谷地区青少年育成協議会
理	事	村田政昭 加治地区青少年健全育成協議会
理	事	富樫政晴 東豊学区青少年健全育成協議会
理	事	伊藤順治 小学校長会（御免町小校長）
理	事	嶋貫研一 中学校長会（佐々木中校長）
理	事	間部周平 高等学校長会（新苑田商業高校校長）
理	事	石井辰吉 学識経験者
理	事	廣岡信彦 学識経験者
理	事	岸本正智 学識経験者
理	事	小宮皓 学識経験者
理	事	吉田奈津子 学識経験者
理	事	伊保橋清子 学識経験者
理	事	遠藤幸夫 学識経験者
監	事	長谷川正美
監	事	今村由記子

地域のまとまり、 みんなの願いで育つ子どもたち

・市内各地域では……

・子どもたちの日々の健康と心の充実、「コミュニティの一員としての心の育成」を「願い」として、さまざまな活動をすすめています。

思いやりの心に満ちた 地域づくり

紫雲寺地区青少年健全育成協議会

五月一日の合併に伴ない、青少年育成紫雲寺町民会議から新

発田市紫雲寺地区青少年健全育

成協議会となり、事業計画と予算の見直しを図り、新たにスタート致しました。紫雲寺地区は平成五年一月十七日に制定された「一・一七教育宣言」の精神を尊重して、これからの社会を担う心身ともに健やかで「助け合い、思いやりの心」に満ちた青少年を育成することを目的として活動してまいりました。昨

年の第十二回教育振興大会は、「ありがとう紫雲寺町、思いやりの心は永遠に」のテーマで開催し、当時、紫雲寺中学校三年生の小川真紀子さんと新発田農業高校二年の斎藤悠さんのフオークデュオが、オリジナル曲の

「ありがとう、ゴメンネ、」を含めて三曲を熱唱しました。次に、劇団上越ガテンボーイズによる「失われる時」の演劇を一昨年に続き上演して頂き、孤独のせつなさや命の大切さなどを演劇を通して教わりました。

そして、今年度の紫雲寺地区教育振興大会は、十一月十三日(日)に、「家庭・地域の教育力を高めるために」をテーマとし、紫雲寺地区公民館で開催致します。アトラクションは、新発田市との合併を記念し、新発田高校ブラスバンド部をお迎えし、紫雲寺地区の方々に、ステキな演奏をご堪能頂きたいと思えます。また、敬和学園高校の小西二巳夫校長先生をお迎えし、教育振興大会のテーマに沿った記念講演を行って頂く予定です。



教育振興大会で熱唱

子どもの安全を守る 行動連携

加治川地区青少年健全育成協議会

子どもは地域の宝です。子どもにとっても地域は大切な居場所です。ところが地域は、安心して遊べる状況ではなくなってきています。

昨年度、教育委員会から学校に寄せられた不審者情報の多さに驚きます。その度に、学校で

は児童に指導するとともに、不審者情報と注意事項を記載した文書を保護者向けに配布してきました。

そんな現状から、新金塚小学校では、PTAや地域の人々と連携して安全を守る取組を始めました。

一つめは、安全パトロールの実施です。校区を二つの地域に分けて、PTA役員から巡回していただくようにしました。巡回にあたっては、自動車に「安全パトロール実施中」のステッカーをつけてもらいました。

二つめは、地域の区長さんにお願ひして、地域住民の方々から腕章をつけて巡回していただくようにしたことです。パトロールの種類は三つあります。

「ついでにパトロール」は「ジョギングのついでに」「買い物ついでに」など文字通り生活のついでにパトロールをしていただく形態です。「お迎えパトロール」は下校時刻の頃、通学路を通る子どもたちに目を配っていただくパトロールです。「車でパトロール」は、車にステッカーをつけて巡回していただくものです。

三つめの取組は、PTA地域委員との連携のもとに「地域安全マップ」を作成したことです。

マップには「交通事故」「川・池・沼など水の事故」「不審者による事故」などの観点から危ない場所を写真と短い言葉で示しました。

学校とPTA・地域との行動連携の大切さが叫ばれています。安全を守る取組を連携の大切な場にしていかなければなりません。

二世代のふれあい活動

東豊学区青少年健全育成協議会

東豊学区青少年健全育成協議会とは新発田市の中でも新しい育成協議会です。

新興住宅地の中にできた小学校で豊町、東新町と二地域からなっています。

運営委員の構成はPTA三役、学区内の町内会長、地域子供会長、PTA三役のOB等が中心になって活動しております。

年間活動の中に三世代交流グートボール大会、三世代ふれあい教室等があり、毎年多くの方に参加していただいています。

特にグートボール大会では、地域のグートボールクラブの役員の方に指導をしていただき、

六年生がゲートボールクラブの役員の方々と打ち合せ会議をして、進行係となって大会を行っています。このゲートボール大会の参加者の内から新潟県代表として全国大会に出場した子どもたちがいます。地域の方の熱心な指導のたまものと思います。

ゲートボール大会では参加希望チームが多く、一日かかりますが、地域のゲートボールクラブの役員の方は、休むひまもなく審判をしたり、指導をしていただいたり、大変お世話になっています。核家族が多い地域ではありますが、三世代がゲートボールを通して、交流ができる事に感謝致します。近年地域の力が弱くなってきたといわれていますが、東豊学区では三世代交流の活動を続けていくことで、地域の皆様が子どもに声をかけてくれたり、注意してくれることで、健全な子ども達に成長してくれるものと期待しています。

この他には、毎月十日に学校、PTA、各町内会、交通安全協会、老人クラブ、民生委員、地域子ども会等の多くの組織

の方々に協力いただき交通指導とあいさつ運動も行っています。

クイズウォークラリー

加治地区青少年健全育成会議

加治地区まちづくりの会の郷土史研究部が地域の子供達に自分の住んでいる地域の良さと歴史を知ってもらいたく始めた「親と子の歴史探訪」の活動は、当初参加数十人程でした。親子でないと参加できないのかとい



クイズウォークラリーのひとつま

う声が上がリ、子供だけでも誰でも参加できるように、協賛だけの四つの団体が手を組み、現在の「クイズウォークラリー」を企画しました。

加治地区は歴史を物語る多くの史跡がありますが、大人でもよく知らない事が多く、ましてや子供達は知る由もないのが現実でした。そういった中で自然にふれあいながら、地域の一員であることを学び、クイズを楽しみ新しい発見を見出します。

回を重ねるごとに参加者も増え、五回目の今では、五十人もの参加となりました。地域の皆さんが自分達の地域に関心が深い事の表れだと確信し、微力ながら祖先から受継いだ貴重な文化遺産を次代へと伝えていく努力をしたいと思います。

子供は地域の宝です。それは両親にとつては当然のことながら、社会においても同様です。次代を担う子供達に少しでも思いが通じ学んでいたのならと思います。

学習体験活動 「トライ・ルーム」

住吉小学校区青少年育成協議会

1. 活動のねらい

「トライ・ルーム」は、子ども達にとつて、新しい体験や発見の機会となるような活動をとおして、

- ・これは面白そうだ
- ・これなら自分でもできそうだ
- ・このことをもっと深めてみよう

今後心がけて、実行しようなどと、内容についての興味や関心を動機づけ、新しい意欲をもつての行動を促すことを、「ねらい」としています。

2. 活動の組立て

(1) 活動の内容

- ・(前年度に実施したことがあるもの、あるいは、今後構想しているもの)
- ・スポーツやゲーム的活動からはなれて、伝統文化としての「茶の湯」や「習字」
- ・日常生活での技術的な学習活動として「料理教室」や「木工教室」
- ・生活基盤を支える、「上下水道施設」や「リサイクル施設」などの見学活動
- ・豊かな心を育てる、さまざまな「趣味」を伸ばす活動

(2) 活動の留意点

活動の組織と展開に当たっては次の事項に留意しています。

- ・地域内の学校、関係組織との連携を図る。
- ・指導者として地域の人材を迎え、ふれ合い交流を進める。
- ・活動が今後の余暇の活用と生活能力の伸長につながるよう配慮する。

3. 今後の課題

- ・多忙な子ども達の生活リズムに、いかに調和させるか。
- ・興味、関心が多様し、活動をいかに魅了化するか。



茶の湯 日常をはなれて、一寸、緊張

めあてをもって、輝く子どもたち

子どもたちは、とりまく社会からの多様な刺激を受けて、夢を描き、めあてをもって、自らを磨き励んでいます。

全国制覇を達成

Ⅱ全日本中学校陸上競技大会で

豊浦中学校三年 榎本健太君

第三十二回全日本中学校陸上競技大会（八月十九日～二十一日）（岐阜県）に、新潟県代表として出場した、豊浦中学校三年生の榎本健太君が、男子四〇〇m決勝で見事、四十九秒五九の記録で優勝、新潟県代表としては十三年ぶりに全国制覇を成しとげました。

優勝を喜ぶ榎本君のことば。
・決勝前の緊張などで追い詰められていた中で、とても強い



優勝ゴールの榎本健太君

力になったのは、今まで自分がやってきたことへの自信と、何よりも皆さんの応援でした。

・僕は全国大会に出場して、「応援の力の大きさ」と「勝つという強い気持ち」が結果を左右することを学んだ気がします。

子ども達の夢を育てる ホタルの里づくり

加治川地区・住田



ホタルの里の案内

夏の夜から蛍の光が消えた新発田に、「蛍舞う、美しい故郷を創ろう」をモットーにして、努力をかさねている地域の人たちがいます。

加治大峰山の麓、住田地域の「ホタル保護研究会」（三十四人）では、平成五年頃から独力で蛍の研究に励んでこられた、渡辺鉄也さんを中心に、蛍の幼虫とそのエサ「かわいな」の生育の

本当に価値のある経験をさせていただきました。
と、謙虚に述べています。

また、厳しい練習をふり返って、「つらさに耐えられたら、優勝ができる」と、自分に言い聞かせてきた」と述べています。

榎本君は今、十月に開催される日本ジュニアオリンピックでの、新記録を目ざして励んでいます。

金魚台輪で

ホーム訪問

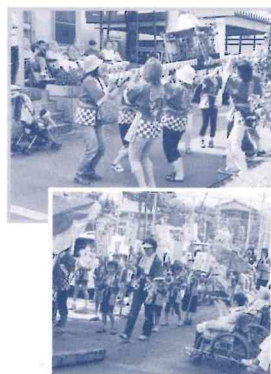
特別養護老人ホーム二の丸

毎年利用者の方々も楽しみにしています金魚台輪の観覧を、今年も大手町五丁目の御協力で八月二十八日に観覧する事が出来ました。子供達の「ワッショイワッショイ」の元気な掛け声

ための、清流の確保に力を注ぎ、今では「ホタルの里」として、毎年蛍が舞う夏を迎えるほどになりました。

渡辺さんは、「地域の人たちや県土木さんの協力と、子どもたちの心にひびくものがあればとの願いを支えとして、進めてきた事業です」と語っています。

に三十名の利用者の方々も目を細め楽しく観覧させて頂きました。ありがとうございます。
また来年も楽しみにしております。



「喜ぶ笑顔が大好き！」

藤塚小学校四年 本間恵里奈

私は、おばあちゃんに連れられて踊りを習って6年になりました。はじめは踊っている姿を友達に見られるのが恥ずかしかったけど、今では敬老会や特別養護老人ホームなどで踊る時、たくさんのおじいちゃんやおばあちゃんの笑顔を見てると踊りをやっていてよかったなあと思っています。もっともつといういろいろな人に喜んでもらえるように、これから大好きな踊りの稽古をがんばりたいです。



踊っている時が好き（左）

おわりに

「子ども達の健全育成に、地域がどのようにかわるか」に、大きな期待がよせられています。

いま、市内各地域（十七地区）ではさまざまな視点から、活動の組立てを工夫し、地域の力をまとめて実践をすすめています。

今号では、五地区の皆さんの活動について、その「ねらい」や「願い」、実践上の「問題点や課題」を含めてお知らせしました。

地域に住む人たちが持っている力をはじめとして、あるいは地域の自然や歴史や伝統なども大きな力として生かされています。

蛍の光には、何かはかない美しさを感じます。

季節の情感をとりもどし、子ども達の心にとけようとの「住田」の方々の活動の発展を祈ります。

（槇坂 記）

編集部

槇坂 宣弘
吉田 奈津子
伊保橋 清子
遠藤 幸夫

